

▼ポマリスト カプセル [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ポマリドミド Pomalidomide 【分類】抗造血器悪性腫瘍剤

【単位】▼1mg・▼2mg・▼3mg・▼4mg/cap

【常用量】4mg/日を21日連日投与、7日間休薬を繰り返す

■デキサメタゾンとの併用

■適宜減量 [血小板減少、好中球減少における減量基準あり]

【用法】1日1回経口投与

【透析患者への投与方法】腎障害患者での安全性が確立していないため慎重投与 (1)

【その他の報告】透析患者ではAUCが35%上昇するが透析性は比較的高い (Li Y, et al: Clin Pharmacol 2017 PMID: 29184451)
3mg/日+イサツキシマブ+デキサメタゾン (IsaPd) にて有効であった症例 (Takakuwa T, et al: Chemotherapy 2021 PMID: 34710867)
4mg/日で適用した症例 (Kida M, et al: Rinsho Ketsueki 2016 PMID: 27941283)

【保存期 CKD 患者への投与方法】安全性が確立していないため慎重投与 (1)

【その他の報告】透析をしていない高度腎障害患者でのPK変化は認められないと思われる (Li Y, et al: Clin Pharmacol 2017 PMID: 29184451)
高度腎障害例に4mg/日で適用可であった (Richter J, et al: Hemato Oncol 2017 PMID: 27018162)

【特徴】サリドマイド誘導体の免疫調整薬、サイトカイン産生調節作用、造血器腫瘍細胞に対する増殖抑制作用、血管新生阻害作用等を有すると考えられているが、詳細な作用機序は解明されていない。再発又は難治性の多発性骨髄腫に適用される。催奇形性があるので管理を行う。

【主な副作用・毒性】深部静脈血栓、肺塞栓、骨髄抑制、感染症、心不全、急性腎不全、末梢神経障害、間質性肺炎、肝機能障害、消化器症状、呼吸困難、低血圧、尿閉、浮動性めまい、血清電解質異常、振戦、味覚異常、発疹、無力症、末梢性浮腫など多数

【F】100% [サル] (1) 少なくとも73%が吸収される (1)

【tmax】3hr (1)

【代謝】肝臓で水酸化物とそのグルクロン酸抱合体及び加水分解物に代謝 (1) CYP1A2, 3A4 によって代謝され、わずかにCYP2C19, 2D6 が関与 (1) 代謝物の活性は未変化体の1/26 (Hoffmann M, et al: Cancer Chemother Pharmacol 2013 PMID: 23203815)

【排泄】尿中未変化体排泄率10% [po, 8日まで] (1) 尿中回収率73% (Hoffmann M, et al: Cancer Chemother Pharmacol 2013 PMID: 23203815)

【CL/F】5.4L/hr (1)

【t1/2】10hr (Hoffmann M, et al: Cancer Chemother Pharmacol 2013 PMID: 23203815)

【蛋白結合率】R体15.8%, S体42.2% (1)

【Vd/F】50L/man (1)

【MW】273.24

【透析性】資料なし (1)

全身CLは非HD時5L/hrからHD時12L/hrに上昇し透析性がある (Li Y, et al: Clin Pharmacol 2017 PMID: 29184451)

抽出率37-65%で、非HD時半減期14時間からHD時半減期3.5hrに短縮 (Dao K, et al: Am J Kidney Dis 2017 PMID: 28063733)

【O/W係数】3.79 [1-オクタノール水系] (1)

【相互作用】P-gp, BCRP, OAT1, OAT3, OCT2, OATP1B1, OATP1B3を阻害しない (1)

強力なCYP1A2, 3A4, P-gp阻害剤との併用時には50%に減量すべき (Kasserra C, et al: J Clin Pharmacol 2015 PMID: 25159194)

【主な臨床報告】中等度以上の腎機能障害がある再発・難治性多発性骨髄腫への治療による腎機能回復の可能性は50% (Meraz-Munoz A, et al: Clin Lymphoma Myeloma Leuk 2024 PMID: 39117532)

【更新日】20240815

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。